

特別区全国連携プロジェクト

令和3年度 第2回全国連携講演会

港区事例報告

「全国連携による支え合いと発展」

港区環境リサイクル支援部

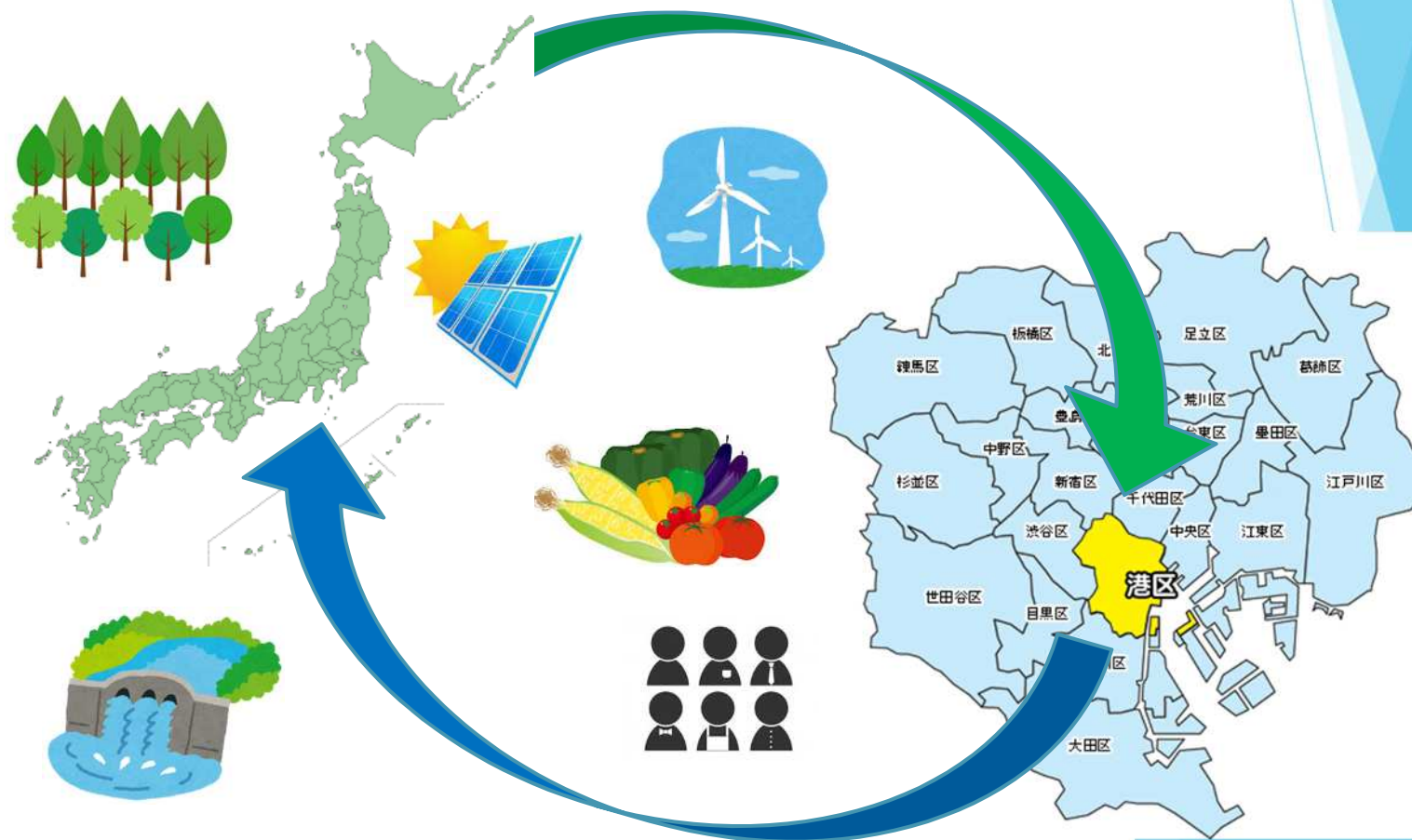
地球温暖化対策担当課長 清水 秀樹

港区と全国各地域との連携

人、エネルギー、食料から、水や空気まで。
全国各地域の支えがあって、都市に暮らす私たちの生活は成り立っています。

港区の連携自治体 **232**（令和3年12月1日現在）

- 商店街友好都市に関する基本協定：5自治体
- 災害時相互協力協定：2自治体
- 間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定：81自治体 等



港区から全国各地域の魅力発信



港区役所1階ロビー
「港区と全国をつなぐコーナー」



全国連携情報誌「港から」



全国連携マルシェ in 芝浦



区役所本庁舎での物産販売・PRイベント



ECサイト「MINATOマーケット」

再生可能エネルギーの区有施設への導入

資源や土地が少ない港区では、再生可能エネルギーの普及拡大を図るには、全国の自治体との連携が必要です。

全国連携により再エネを導入している施設数（令和2年度）

17施設（高輪地区総合支所、三田図書館など区有施設の約1割に導入）

連携自治体



太陽光発電

○福島県白河市



バイオマス発電

○青森県平川市

○秋田県大仙市



風力発電

○山形県庄内町

再生可能エネルギー
電力の供給

交流事業

区有施設



再生可能エネルギーの区有施設への導入

連携を契機として、それぞれの特性を生かした交流を行い、相互発展の機会を創出しています。

(写真) 白河市との環境交流事業の様子

左上：太陽光発電設備、左下：ソーラーハウス作り、右：じゃがいも掘り体験



みなと森と水ネットワーク会議



●みなとモデル二酸化炭素固定認証制度

区内で延床面積5,000m²以上の建築物を建築する建築主に対し、

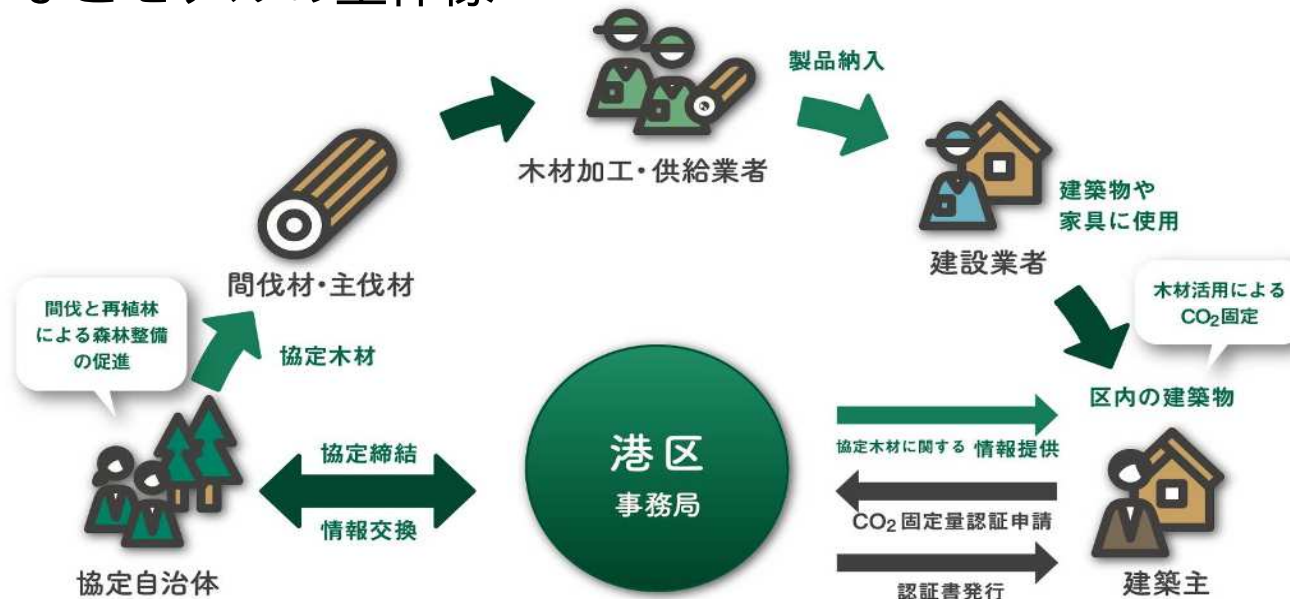
- ・ 1m²当たり0.001m³以上の国産木材の使用を港区が指導
- ・ 木材使用量に相当する 二酸化炭素固定量を港区が認証

港区内でのCO2固定量の増加



協定自治体での森林整備の促進
及びCO2吸収量の増加

●みなとモデルの全体像

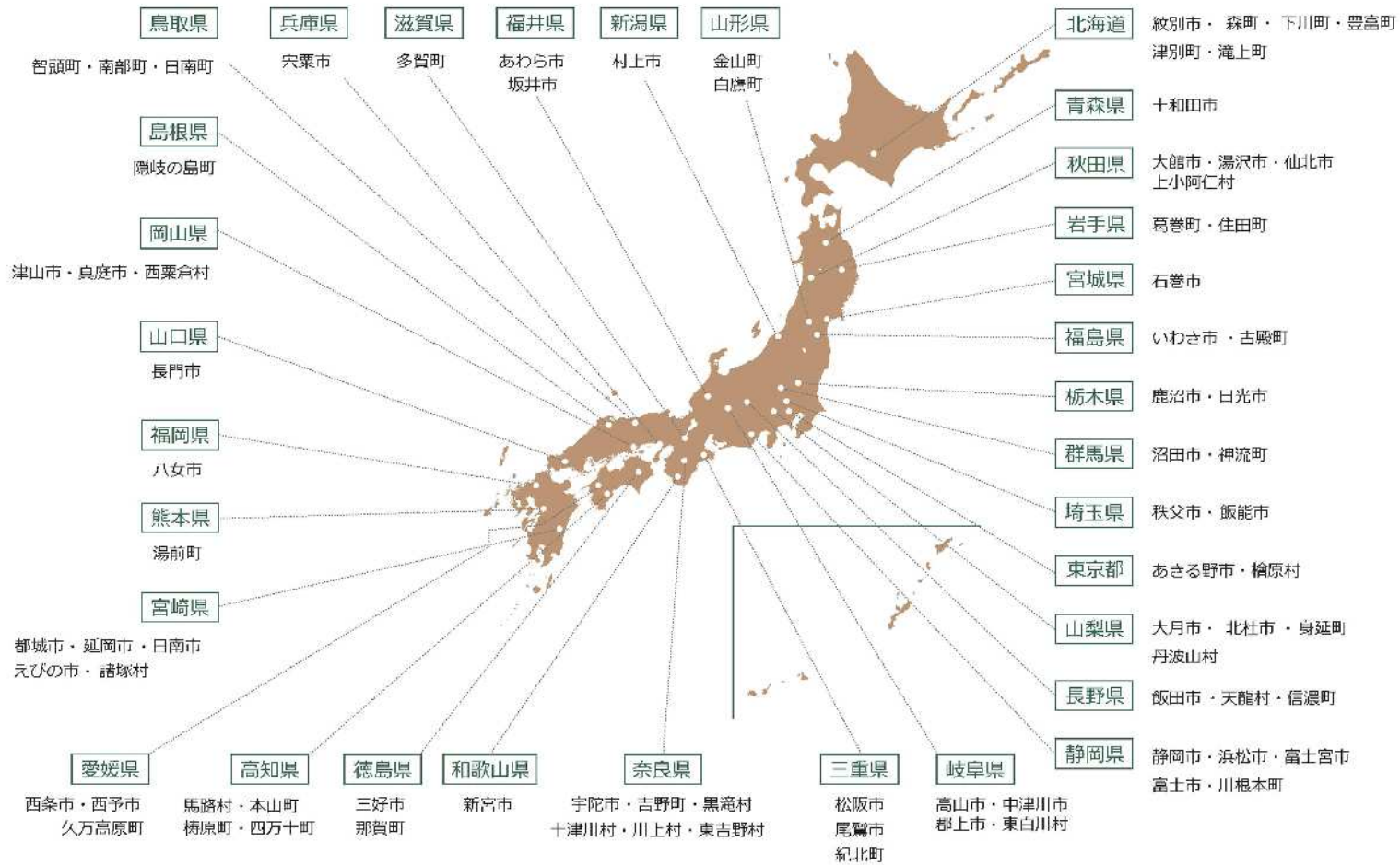


みなと森と水ネットワーク会議

みなと森と水ネットワーク会議

81 協定自治体

2021 / 10 / 26 現在



UNIFIED NETWORKING INITIATIVE FOR MINATO "MORI & MIZU" MEETING

みなと森と水ネットワーク会議



□みなと森と水サミット

港区と協定自治体は、毎年11月頃に各自治体首長が意見交換を行う「みなと森と水サミット」を開催しています。

今年度も、林野庁長官をお招きし、20自治体の首長をはじめとした50自治体が、それぞれの課題認識や今後の取組方針について活発な意見を交わしました。

□木材製品展示会

みなとモデルでは、協定木材を使用した製品を知ってもらい、協定自治体と設計者や建築関係の事業者等とを繋ぐ場として、毎年度製品展示会を開催しています。

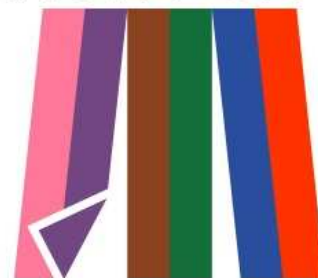
協定自治体からは、直接PRを行い、販路を開拓できる機会として大変好評です。



お互いのまちをもっとゆたかに



MINATO CITY



ご清聴ありがとうございました。